

(2004.01.28-2004年を迎えて(『中嶋ゼミの会 ニュースレター』No.65

# NEWSLETTER

中嶋ゼミの会 ニュースレター No.65

2004年1月28日発行

2004年を迎えて

中嶋 尚 雄

年頭の挨拶が違くなりましたが、ゼミの  
会の皆様には、お元気にて新しい年を迎え  
のことと存じます。クリスマスや新年のお便りを  
掲載し、有難うございました。ゼミの会の皆様  
には、この場をお借りしてお返事にさせていただきます。  
どうかご容赦下さい。

2004年(平成16年)は、4月から国立大学が  
一斉に法人化されるといって、わが国の高等教  
育界にとっても明治初年、第2次大戦後には次  
大転換の年ですが、それにしても国民的  
関心が薄いと思われまふ。21世紀は「民」の  
時代であり、「国」の時代が終ったことの  
表れなのかもしれません。

それしたなかで、地方の時代の象徴とい  
える公立大学の法人第1号として、この4月  
に秋田に開学する国際教養大学(Akita  
International University)の立ち上げにたい

この頃ですが、お蔭様で大変に好評で得て  
あり、推薦入試やAO・高校生留学入試は  
ハードルの高い出願条件(GPA 4.0以上, TOEFL  
450~500以上)にもかかわらず、全国各地から  
優秀な受験生が集り、1人の欠席もなく、また  
合格者は全員手続を完了しました。これは  
始まって一般選抜もA日程(三教科)は23.4倍、  
B日程(五教科)も13.1倍と予想以上の高倍率  
に嬉しい悲鳴をあげています。

従来、国立大学では出来なかった新しい  
試みが理解を得つつあることの証明だと信じ  
ますが、さらに身を引き締めて自奮いつぶ張り  
たいと思います。ぜひこの機会に皆様にも何卒  
よくよく理解や支援を賜りたいと思います。

正月2日には、数多くの留学生を合わせて60数名  
が拙宅に集まって下さり、楽しいひとときとな  
りました。今中からは秋田と東京、これにときは  
は北九州と熊本、生活に寄りまうか、どうか  
いつでもお尋ね下さい。お待ちしております。

(2004年1月23日、拙宅にて)